

みんなの

市議会

台風第10号災害復旧等

補正予算可決

伊達の歌碑を尋ねて

第六弾

西小路の歌碑 (元町児童公園内)

夕日影 高根の雪と

そめ色のあかねとさらす

西の山の端

リニューアルしました!!

「読者が読みやすい」を目指して編集し、
全ページ4色刷りにしました。

従来の2色刷りと同単価で実現しました!

2016.11.1
第84号

特集 議会を傍聴して

今回は、NPO法人いきものいんく代表 加藤 康大やすひろさんに9月議会を傍聴していただき、感想とご意見を伺いました。

議会を傍聴していかがでしたか？

こんなに具体的なことまで議論されているのかと正直驚きました。もつとたくさんの方に聞いて欲しいと思います。

一般の方々の政治に対するイメージは正直良くない。「本当に仕事してんのかよ」とか、そういったイメージを払しょくする意味でも、もつともつと聞いてほしいと思いますし、そのためにはどうしたらいいかを考えるべきではないでしょうか。

議会では、議会中継の導入に向けて協議をしています。まずは議会中継をすることで自宅にいても議会の様子がわかるようにできれば、関心を持っていただけたらと思います。

議場での議論は、その後が大事なのではないかと思います。議



NPO 法人いきものいんく 代表 加藤康大さん

います。議員はその回答を見て、あまり進んでいない場合は、次の手を考えて議会に臨むことができます。

例えば、一般質問で聞いたことを、次回またさらに重ねて聞くことができるということができますね。

そうですね。視点を変えたり、論点を変えたりして、長い年月をかけて実が結ぶということもあります。

伊達市議会では、一般質問答弁事項進捗状況調査を導入しました。議場では「検討する」と答弁しながらも棚上げになってしまつことも多いので、そうした点を確認する作業が議会閉会中に行われて

私には仕事柄、子どもや教育に関することに関心をもって見ているのですが、少子高齢化の中で、この分野が置き去りにされているのではと心配しています。高齢者福祉はもちろん大事ですが、それと同じく

らい教育という分野も大事なのではないかと。伊達市は他の市町村と比べて高齢者にかける割合と子どもにかける割合は同じなのでしょうか。私の自宅は壮瞥町なのですが、壮瞥町は子どもにかける時間やお金が多いように思います。

壮瞥町と伊達市の子どもに対するお金のかけ方が違いますか？具体的には、どういったところが違いますか？

壮瞥町は子ども向けの事業が豊富です。子どもが少なくなつて中学校の部活動も数が限られていたりしますが、総合型地域スポーツクラブ「そうべつ地遊スポーツクラブ」とも連携しながら、子どもにスポーツをする場を提供しています。また、教育委員会主催の子ども向けの授業では例えば星空の観察会、子ども郷土史講座など自然や歴史について学ぶ学校外のイベントが土日や放課後に行われています。文科系の講座、例えば世良公則さんのイベントなどもありました。

また壮瞥町の子どもたちの運動能力がすごく伸びている気がします。

例えばA・L・Tを含めた4名で、幼児や小学1〜2年生を対象に「コーデイネーショントレーニング」を週に一度、約1時間やっています。その効果はとても高いと思います。

こうした取り組みは、大きな学校では難しいでしょうか。

大規模校では、担任同士のすり合わせや、様々な調整が出てくるので、なかなか壮瞥町のようにはいかないですね。

小規模校の良いところを大規模校にどうしたら取り入れていくことができるのか。こちらへんが大事なところですね。

自然環境の観点から伊達、洞爺の魅力はどこなところにありますか。

私は大学を出た後、ニューヨークランド、カナダと大雪山系で生きてきましたが、伊達、洞爺周辺の自然環境も素晴らしい。ここで住んでいる方は全く気付いていないと思います。本音が素晴らしい自然が身近にあります。湖、火山、山、海、川。

こんなに揃っているところは他にありません。この周辺の自然は敷居が低い、そして豊かです。未来を背負っていく子どもたち



来種の駆除でした。これにとっても違和感を覚えました。所詮人間が決めた法律でこっちは殺す、こっちは守る、すごくおかしいと思いつつながら4年間仕事をしていました。

だから、こんな自然豊かなところに住んでいる子どもたちには、人間なんて何も偉くない、偉くないどころか、地球上にいる数千万種類といわれる生き物の中で一番しょっちゅうもない生き物が人間だよということをお伝えするために「いきものいんく」を設立しました。

には「すつげーいいところで育っているんだよ。君たちは」と伝えたし、伝えていきます。

「いきものいんく」を設立されたきっかけは何だったのですか。

私は2007年から4年間環境省にいました。野生生物関係の仕事でした。希少種や法律で守りましようと思われている生き物を調査したり保護したりする一方で、もつとも時間を使ったのが外

「いきものいんく」の環境教育とは。

「いきものいんく」のプログラムは、『子どもたちに考えさせる』というのが役割であり大きな特徴です。

例えば、川で泳いで「楽しいね」だけではない。どうして外来種を駆除するのかとか、人間の身勝手なところを必ず知ってもらいます。「それをやったから子どもたちがどうなるのですか？」とよく聞

かれますが、効果なんて全然わかりません。ちよつとでも視野が広がって、人間の都合だけで考えない子どもにならないで欲しいなと思うだけ。それだけです。

戦争やテロによってたくさんの人が犠牲になっています。毎日のようにそんな報道があります。一方でどれだけの植物が焼かれて、どれだけの生物が生息環境を失っているかを誰も話そうとしません。「それっておかしなことではないの？」というようなことを子どもたちとまとめ、学習の中で話し続けていきます。

今日は本当にいい勉強になりました。ありがとうございます。



広報常任委員会の阿戸委員長(左)と佐藤副委員長(右)



第3回 定例会概要

平成28年第3回定例会は、9月5日～9月27日まで開催しました。

(仮称)伊達市総合文化館新築工事(1期工事)請負契約の締結や補正予算など議案11件について説明を受け、それぞれ本会議や委員会での審議を行いました。

平成27年度伊達市一般会計及び特別会計決算について3日間の日程で審議し認定しました。



平成28年度 伊達市一般会計補正予算

平成28年度歳入歳出の総額に

2億4,579万1千円を追加。

歳入歳出予算の総額を

194億5,606万3千円とする。

台風第10号災害復旧等補正予算 6,100万4千円の内訳

道路・河川等
公共土木施設
2905.7万円
(47.63%)

公共施設
公用施設
1,163.3万円
(19.07%)

堆肥センター
伊達漁港等
農林水産業施設
904.5万円
(14.83%)

損害賠償等 総務管理費
393.5万円 (6.45%)

簡易水道施設 68万円 (1.11%)

学校等
文教施設
594.2万円
(9.74%)

有珠山登山道などの倒木処理
商工施設 50万円 (0.82%)

墓地における倒木処理
厚生労働施設 21.2万円 (0.35%)



議会での答弁で公共関係ではこの他に約9,000万円の被害が確認されており、今回の補正とあわせて約1.5億円の被害となることがわかりました。

■その他、主な補正予算

事業名	予算額	事業概要
土地建物維持管理費	892万1千円	老朽化が進み、住宅としては使用できない状況にある館山町旧教職員住宅の除却を行う経費。
アイヌ住宅新築資金等貸付金	480万円	耐久性、居住性の向上を目的とした住宅改修資金の貸付金。
予防接種経費	235万2千円	予防接種法施行令の一部改正により、B型肝炎ワクチンの予防接種が追加されたため、予防接種に要する経費。
道営有珠山麓地区畑地帯総合整備事業負担金	400万円	畑地かんがい施設の更新整備、除れき、用排水路、農道の改修を行う経費。道営事業の本市負担分。
商店街公衆無線LAN整備事業補助金	100万円	中心市街地に位置する商店街に公衆無線LANを整備する伊達市商店会連合会に対する補助金。
南大通街路整備事業	700万円	都市計画道路南大通館山橋の架替の橋梁予備設計を行う経費。北海道の河川事業の本市負担分。
コミュニティ・スクール運営経費	25万円	平成28年度中に5校で先行導入するための経費。
アートビレッジ文化館運営管理費	104万3千円	絵画収蔵室天井の雨漏り防止のために行う修繕にかかる経費。

平成28年度 伊達市下水道特別会計補正予算

平成28年度歳入歳出の総額に

204万1千円を追加。



歳入歳出予算の総額を

17億4,611万3千円とする。

■主な補正予算

事業名	予算額	事業概要
国庫補助金返還金(発生物品売払収入分)	204万1千円	伊達終末処理場長寿命化更新工事で発生した鉄くずの売払収入に伴う国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の返還金。

平成28年度 伊達市介護保険特別会計補正予算

平成28年度歳入歳出の総額に

3,400万7千円を追加。



歳入歳出予算の総額を

34億2,425万5千円とする。

■主な補正予算

事業名	予算額	事業概要
介護予防一般高齢者対策事業	145万3千円	長和地区の地区介護予防教室で健康カラオケを取り入れ実施するための経費。

平成28年度 伊達市後期高齢者医療特別会計補正予算

平成28年度歳入歳出の総額に **1,359万6千円**を追加。

歳入歳出予算の総額を **5億5,273万8千円**とする。





一般質問

第3回定例会（9月9日・9月12日）

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

答弁 ▼ 山下川沿線の歩道整備のた

質問 ▼ 市道山下川沿線の道路改良整備について問う。

答弁 ▼ 今後、返礼品制度を取り入れるべく、他の自治体の状況を比較検証し、より効果的な制度の導入に向け調査研究をしている。

質問 ▼ 伊達市における「ふるさと納税」の返礼品制度を取り入れた施策について問う。

答弁 ▼ サービス事業者の運営基準及びサービス単価の設定、対象となるサービス利用者への説明、市民への周知に取組む。

質問 ▼ 介護要支援者に対する介護予防給付を市独自の「地域支援事業」に移行する事について問う。

市民クラブ 山田 勇



め河川管理者の北海道と協議をしており、現在、歩道の高さや道路構造などを含めた、最終条件の整理を協議して、早期整備を目指している。



社会福祉協議会に併設されている
地域包括支援センター

質問▼中等教育学校に対しての考えについて問う。

答弁▼一つの学校として6年間の中高一貫教育をすることから、中等教育学校における教育効果は非常に高いと考えている。

質問▼市立の中等教育学校の開設を目指し、有識者などによる会議で調査研究を進めるべきかを問う。

答弁▼一人ひとりの個性や創造性を重視した教育や、多様な進路選択への対応が可能になると考えることから魅力があるものであり、市民からのニーズや課題の整理をして、研究を進めたい。

質問▼農業振興の長期展望について問う。



北海道伊達高等学校

答弁▼国営緊急農地再編事業の各種調査や要請活動を行うなど、期成会や開発局と連携を図る。

質問▼成長戦略の重点課題である農業振興策について、労働者不足は伊達市でも進行していると考えが、打開策について問う。

答弁▼3市3町でなる日本版CCRCの中で若い新規就農者を獲得する施策について検討していきたい。



質問▼地域経済を問う。

答弁▼少子高齢化と人口減少の進展、それに伴う経済活動の停滞や担い手不足で管内中小企業の売上げの停滞・減少、事業継承は全国の地方における共通の課題。

それを踏まえ、地方創生ビジョンの中で取組を進めており、次期総合計画でも地域資源の発掘活用と地域ブランド構築、担い手確保等について企業や関係団体と協議しながら反映していきたい。

質問▼水害対策を問う。

答弁▼過去の河川氾濫による被害から、現在は水位観測データと現場の目視、気象台情報など総合して判断し市民が安心して浸水前の避難行動がとれるよう対策している。



過去に氾濫のあった長流川

質問▼洪水ハザードマップと防災対策を問う。

答弁▼洪水ハザードマップは全戸配布し、転入者にも配布しているが、8年経つてその基準が想定し得る最大規模の降雨による河川氾濫を想定するなど避難経路などの見直しを進めていく。





無会派 阿戸孝之

たい。



質問▼糖尿病の治療、予防の為に、低糖質食療法を啓発する考えはあるか問う。

答弁▼低糖質食療法を推進する考えはない。国が定めた食事療法を中心に啓発活動に努めていく。



青 雲 洞 口 雅 章

所の要望の声を多数聞くが、市としての考えを問う。



質問▼自転車は、子どもから高齢者まで幅広く普及している身近な乗り物だが、交通ルールの認識不足や運転マナーの欠如により歩行者の安全が脅かされている。国は昨年度に法を改正し罰則を厳しくした。自転車が多い当市としても全市挙げての対策と自転車安全利用に関する条例制定について問う。

答弁▼現状の施策や事業を点検し、行政・教育機関・安全協会や地域諸団体と連携し、自転車の安全利用促進を進めていく。現時点での条例制定は考えていない。

質問▼次世代への経済的負担や少子高齢化で墓を維持することの不安や、宗教観の変化等により合葬式墓所の需要が全国的に高まっている。

伊達市民からも市営の合葬式墓



自転車の並走は法律違反

答弁▼今後とも公園として維持するとともに、キャンプ地としての利用も含め、大滝の魅力の一つでもある自然を生かした活用策を検討していく。

質問▼伊達市内の保育所の待機児童の解消と大滝区の保育所の維持のためにも子育て世代の大滝区への移住定住の促進を図るべきと考えるが、考えを問う。

答弁▼現在整備中の定住促進住宅の活用や、事業者に向けて働きかけるなど、保育所、小学校、中学校の存続のための施策を考えていき



三階滝公園

質問▼平成29年度4月から市内小中全校で導入するとしているコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置する学校）導入後の評価・検証のあり方を問う。

答弁▼運営協議会の開催ごとに議事録をホームページで公開するとともに検証していく考えだ。

質問▼生活支援総合事業移行への準備状況について問う。

答弁▼サービス事業者への聞き取り調査等を行ってきた。今後は事業所の人員、設備、運営基準及びサービス単価の設定、利用者への説明や市民への周知に取り組んでいく。

質問▼合併10年を経た大滝区との一体化ははまだ道半ばと感ずる。今後の一体化の醸成に向けた基



他市でのコミュニティ・スクールの取り組み

本的考えと取り組みを問う。

答弁▼各種スポーツイベント開催による交流人口の増や豊かな自然などの強みを活かした街づくりを進める。

質問▼胃がんの予防にもつながるピロリ菌検査について、中学2年生を対象に実施することはできないか、がん教育を小中学校へ広げていく事はできないか問う。

答弁▼ピロリ菌検査については予防効果を考えると検査時期は、なるべく早期であることが望ましい一方、治療にはある程度身体的に成熟していることが必要。

近隣の市町の実施状況も踏まえて総合的に勘案し、中学2年生での実施に向け、関係機関との協議を進める。

がん教育は今年度は2校の中学でがん出前講座を行う。全小中学校で保健体育の授業でピロリ菌も含め、がん教育について取り組む。

質問▼空き家対策について問う。



答弁▼危険家屋の市民窓口及び市の対応は建設部都市住宅課、今年度中に策定する予定の「空家等対策計画」に、適切な管理や活用を促進、庁内の関係部署と連携を図り取り組む。



委員会報告



総務文教
常任委員会

委員長 菊地 清一郎

■工事請負契約の締結について

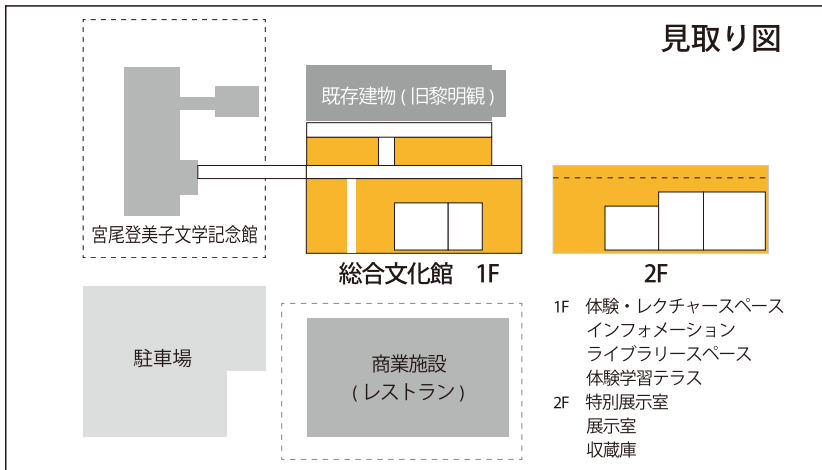
〔(仮称) 伊達市総合文化館新築工事1期工事〕
 予定価格が1億5千万円以上の工事請負契約の締結について、議会の議決を求めるもの。

審査の中では、

問▶来年度予定の2期工事では、新たな入札が行われるのか？

答▶来年度予定の2期工事については、建物の内装や外構工事を行う予定であり、新たに入札を行う。

問▶正式名称になった「だて歴史



文化ミュージアム」の愛称について検討する考えはあるか？

答▶現時点で愛称をつける考えはない。

などの質疑がなされ、本案件は妥当なものと認められた。付託された1案件は、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定した。

正式名称「だて歴史文化ミュージアム」に決定。



平成30年秋
オープン予定!



黄金地区水資源保全地域公有地化事業用地とし

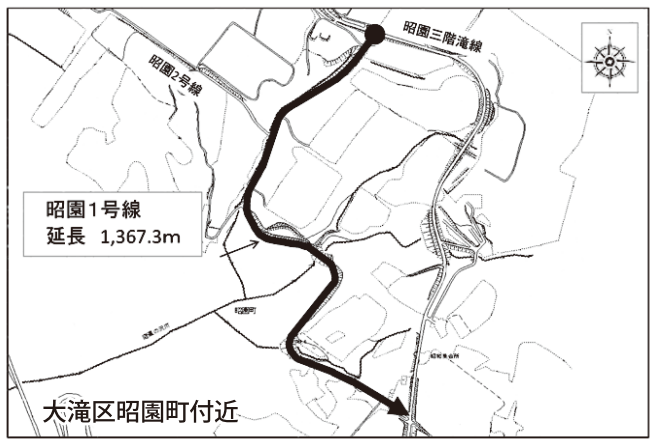
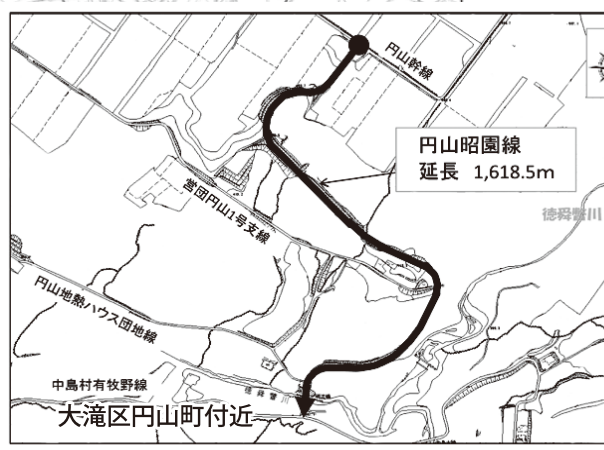
■財産の取得について

道路法第8条第2項の規定により、市道の路線を認定することについて、議会の議決を求めるとのこと。旧路線の上長和農道、蒲沼農道、昭園1号線、円山農道について、農道としての整備後に一定期間が経過し、市道の要件を満たしていることから、それぞれ路線名を蒲沼本通り線、蒲沼北線、昭園1号線、円山昭園線として市道認定するもの。委員会では下記の地図のとおり現地調査を行った。

■市道の路線の認定について

産業民生
常任委員会
委員長 小久保 重孝

《市道認定された路線》



- 所在地
 - 伊達市北黄金町122番
 - 伊達市北黄金町128番17
 - 伊達市北黄金町128番18
 - 地籍
 - 62万5683平方メートル
 - 取得価格
 - 3128万4150円
- 以上、付託された2案件は、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定した。
- て、土地を取得することについて、議会の議決を求めるとのこと。



各事業の結果と効果について質疑が行われ、全員一致で「原案のとおり認定すべきもの」と決定した。

審査の中では、

平成27年度一般会計、特別会計（国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、簡易水道、下水道、霊園）、水道事業会計の決算審査が9月20日、21日、23日の3日間で審査が行われた。

■平成27年度決算審査について

委員長 篠原一寿
予算決算
常任委員会

平成27年度 決算審査の中から

0.2%アップ 96.6%

市税・使用料の滞納分に対し、丁寧な納税相談や悪質な滞納者への預貯金の差し押さえ、自動車のタイヤロックなどを行い、徴収率がアップした。

今後も悪質な滞納者を逃さないことが徴収率の向上につながり、納税意識を高めることにつながる。

77.6MHz 合わせてみよう!

コミュニティFM放送推進経費2,073,600円、コミュニティFM放送局事業経費15,191,012円。聴取者アンケートを市民向けに実施し、実際に聞いている人が平成26年度29.4%、平成27年度37.0%と増加した。

今後は商店街のスピーカーで流すなどの拡大が検討される。また、災害情報の放送などの検討も必要とされる。

19灯・トータル554灯

平成27年度防犯灯のLED交換は19灯で、3,254灯中554灯がLEDに交換済み。長寿命、省電力の観点からも定期的に交換を進めていくことが必要とされる。



交通安全啓発43万円

交通安全啓発費437,484円。児童生徒の交通安全教室は16件1,783名の参加に対し、一般は0件。特に自転車の運転マナーの向上については、安全講習会を自治会単位で行うなどの工夫が必要。また、自転車保険への加入の啓発も必要とされる。



1,100万円

本庁舎の耐震診断調査に11,016,000円。災害時の対策本部にもなる建物であることから、調査結果耐震指標は0.6で崩壊の危険は低いとの診断結果がでたが、補強材を入れるだけでも約10億円程度必要。活火山の有珠山を抱えているので、早急な検討が必要とされる。



伊達フェア in 大通ビッセ

伊達フェアin大通ビッセ事業費3,322,693円。伊達産食材の販路拡大のために札幌市の商業施設「大通ビッセ」で展示直売会を実施。今後も伊達食材の販路拡大につなげるために継続する。



芸術家輩出！?

アートビレッジ事業19,579,400円。NPO法人噴火湾アートビレッジに対する委託料であり、絵画教室「野田・永山塾」44名、北海道ジュニア美術セミナー118名、伊達音楽アカデミー6名がそれぞれ受講。将来高名な芸術家が輩出されることを願う。



広報広聴費（ホームページ維持管理費） 807,084円

ホームページの図書検索項目や移住定住に関する項目について増やした。今後もホームページの活用について注目していきたい。



職員研修費 313万円

指導助言できる人を育成するチューター育成研修、女性リーダーを積極的に育成するキャリアデザイン研修など職員間の連携を重視した研修を毎年増員して行っている。



《意見書》

結果	件名	提出者	新政 之 う	会 派 創 生	市 民 之 う	公 明 党	青 雲
○	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会	○	○	○	○	○
○	後期高齢者医療制度における保険料軽減特例の維持・継続を求める意見書	日本共産党 伊達市委員会	○	○	○	○	○
○	公共輸送機関であるJR北海道等に係る経営支援策を求める意見書		○	○	○	○	○
×	TPP協定の調印・批准をしないことを求める意見書		×	×	×	×	○
○	沖縄で米軍属による女性遺体遺棄事件に抗議するとともに日米地域協定の見直しを求める要望意見書		×	○	○	○	○
○	チーム学校推進法の早期制定を求める意見書	公明党 伊達支部	○	○	○	○	×
○	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書		○	○	○	○	○
○	無年金者対策の推進を求める意見書		○	○	○	○	○
○	有害鳥獣対策の推進を求める意見書		○	○	○	○	○

関係機関へ提出まで…

- ①各団体から提出された意見書は会派ごとに審査⇒②議会運営委員会で協議
- ③3分の2以上の会派の同意により定例会に提出
⇒④提出された意見書が過半数の賛成により議決
- ⑤伊達市議会の機関意志として国の各機関へ提出
※国の関係機関とは？⇒内閣総理大臣、衆参議院議長、各担当大臣など



第3回定例会にあたり、議会運営委員会を9月1日、12日、21日



委員長 辻浦 義浩

議会運営委員会

に開催した。
1日は第3回定例会全体の日程と議案などの確認を行い、12日は意見書の取り扱いについて、21日は台風関連の補正予算に関する日程と議案について審査を行った。
意見書については次のとおり。

第1回

臨時会概要

8月3日に第1回伊達市議会臨時会を開催。平成28年度一般会計補正予算について審議を行い、原案のとおり可決。

平成28年度

伊達市一般会計補正予算

平成28年度歳入歳出の総額に**3,302万4千円**を追加。
歳入歳出予算の総額を**192億1,027万2千円**とする。



■主な補正予算

事業名	予算額	事業概要
室蘭・伊達熊本地震被災児童受入実行委員会負担金	121万円	熊本地震により被災した児童の傷ついた心のケアを図ることを目的に実行委員会が行う地域児童等との交流事業費を負担。
黄金地区水資源保全地域公有地化事業	3,144万9千円	水源涵養林、水源保全地域としている土地について、第三者による伐採等の開発行為防止と自然環境の保全、保護を行うため取得する経費。
伊達商工会議所景気対策事業補助金(過年度分)	33万9千円	平成27年度伊達商工会議所景気対策事業補助金の未払い分について支給する補助金。

常任委員会 所管事務調査報告



委員長 菊地 清一郎

総務文教
常任委員会

《7月22日(金)》

★「コミュニティ・スクール」について(以下「CS」)

CS(学校運営協議会)の役割や導入することにより期待される効果などを調査し、平成29年度には市内の全小・中学校をCSとして指定することとし、準備が整った学校については平成28年度中に先行指定するなどの説明を聞き、質疑を行った。

問▼地域への周知の考え方は?

答▼自治会の役員も委員として入っていたり、自治会だより、学校のホームページ、教育委員会のホームページに掲載をする。

問▼CSを誰が担当するのか。また

《8月22日(月)》

★「学力向上対策」「伊達市いじめ防止基本方針」について

た、教育委員会の体制についてどのように考えているか?

答▼担当は、指導室である。教育委員会の体制強化を市長部局と相談しているところである。

学力向上のための取組

学力向上対策は、全国学力・学習状況調査の実施説明と全国学力テストの結果の説明を聞き調査を行った。

●目的は?

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、その改善を図ることを目的とする。また、児童生徒の学習意欲や学習環境に関する調査も行っている。

●学校では?

- ①学力・学習改善プランの作成、指導方法の決定。
- ②「ほっかいどうチャレンジテスト」の活用。

- ③伊達市学力向上部会での取り組み。

いじめ防止のための取組

伊達市いじめ防止基本方針は、方針決定に向けたスケジュールや基本方針(案)の説明を聞き調査を行った。

●概要

いじめ防止対策推進法に基づき、

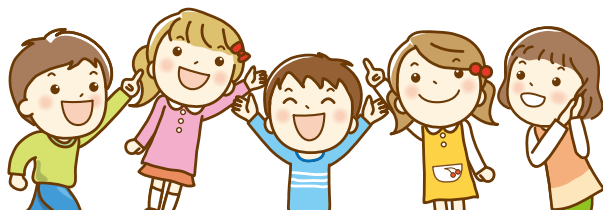
学校、家庭、地域住民、行政その他の関係者の相互の連携協力の下、社会全体でいじめの問題を克服することを目指し、「伊達市いじめ防止基本方針」を策定する。

●スケジュール

- 10月11日～11月10日……パブリックコメント
- 11月17日……総合教育会議にて基本方針案決定
- 11月……方針決定



伊達小学校の子ども達の様子



《9月13日(火)》

★国民健康保険高額療養費制度の概要について

高額療養費制度の概要

国民健康保険における高額療養費制度について説明を求め、高額療養費制度の概要や手続きについて調査を行った。



委員長 小久保 重孝

産業民生
常任委員会

《8月31日(水)》

★「伊達聴力障害者協会」及び「伊達手話の会」について

来年4月施行を目指し現在作業が進んでいる「伊達市手話言語条例」制定をテーマとして、それぞれの活動の状況や生活上困っている点などについて意見交換会を行った。

特に手話が唯一のコミュニケーション手段という切実な話に、あらためて手話の大切さを教えていただいた。

また、全般活動がボランティアによって支えられていることや手話に対する理解が浅いことで活動の難しさがあることを教えていただいた。



★介護保険の状況について

介護保険の状況

介護保険制度の改正内容について説明を求め、介護予防・日常生活支援総合事業へのサービス移行に向けた取り組みなどについて調査を行った。

★伊達市立つつじ保育所民間事業者の決定について

民間事業者の決定

伊達市つつじ保育所の民営化に向けた手続きについて説明を求め、運営する民間事業者が選定された基準などについて調査を行った。



《7月25日(月)～27日(水)》

★行って来ました広報視察！

まさにカルチャーショック!!



委員長 阿戸 孝之

広報
常任委員会

7月25日から27日の日程で岡山県美咲町・津山市、兵庫県三田市の3市町の議会広報作りを視察してまいりました。

カルチャーショック！わが「伊達市議会だより」も市議会としては数少ない、議員自ら記事を書き編集する議会広報なので多少の自負を持ちつつ臨みました。が、我々の編集方針は審議内容を全て載せて伝える事でありましたが、3市町の議会広報は、いかに内容を削って文字を少なくし、市民に見やすく伝えられるか、いかに多くの市民に見てもらえるかに主眼がありました。

変わります！「伊達市議会だより」は大きく変わります!!多くの市民に見てもらえるように変わります!!!そして手前味噌に陥らないように。



7月25日、美咲町議会にて

伊達市議会議員選挙区

条例検討特別委員会



委員長 国本 一夫

伊達市議会
議員選挙区条例
検討特別委員会

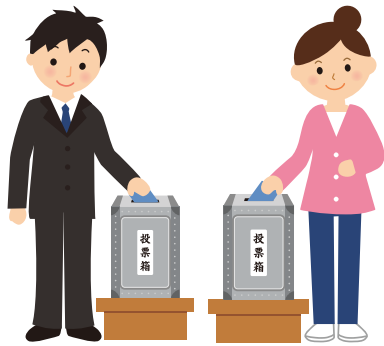
7月22日に、大滝区において「選挙区に係る住民の意見を聴く会」に参加し、9月6日に大滝区内の

公共施設の現地調査を行った。

そして、9月14日に第4回目の委員会が開かれ、旧伊達市と旧大滝村との合併後の伊達市議会議員選挙における選挙区の状況や他市町村議会における選挙区の設置状況等を調査して、次回の委員会において選挙区の在り方について協議することになった。



大滝基幹集落センターにおける「住民の意見を聴く会」の様子



より良い議会活動のためにも
市民の皆様のご意見ご感想を
お待ちしております!!



7月27日、三田市議会にて



7月26日、津山市議会にて



伊達市議会 全員協議会

平成28年8月3日(水)

■上下水道（伊達・大滝）料
金統一（案）について

合併10年を経過し、合併時に合意されていた上下水道料金の統一を図るため、料金の値上げが行われる



現在の大滝給油所

大滝区の住民、企業への説明等の手順について担当部局の説明を受けた。

■大滝区サービスステーション
整備事業の財源等の変更に
ついて

現在の大滝給油所の建て替え計画のうち、当初の財源である過疎対策事業債が国、北海道との協議で利用できなくなり一般財源に振り替えることを担当部局の説明を受けた。

平成28年9月5日(月)

■伊達市まち・ひと・しごと
創生人口ビジョン・総合戦
略の成果検証と進捗状況に
ついて

総合戦略に基づき実施した地方創生先行型事業8事業の成果と進捗状況を担当部局の報告を受けた。

■伊達市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定
について

農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員及び農地最適化推進委員の定数を条例で定めるための手順について担当部局の説明を受けた。

■使用料の見直し(案)について

平成28年9月8日(木)

施設の維持管理経費が増えているため、公共施設の使用料を見直した結果、5施設の値上げと条例改正について担当部局の説明を受けた。



被害総額

7億4千万円!

平成28年9月27日本会議終了後、台風第10号の規模と民間の被害状況について報告があった。

- ▶ 総雨量 …………… 58.5mm (伊達)
205.5mm (大滝)
- ▶ 最大瞬間風速 …… 35.2m / s (伊達)
23.2m / s (大滝)
- ▶ 被害総額 …………… 7億4,008万4千円

大きな割合を占めたのは民間の農業被害で約4億9,200万円。土木被害で約6,680万円。商工被害で約4,450万円。

他団体会議報告

○総務常任委員会



報告 阿部 正明

西いぶら
広域連合議会

▽吉村 俊幸
▽阿部 正明
▽寺島 徹

①平成28年8月5日

(1)西胆振地域廃棄物
広域処理施設整備
検討に係る中間報
告

②平成28年8月24日

(1)西胆振環境(株)の平
成27年度営業概要
(2)指定管理者施設管
理運営評価

(3)広域連携調査研究
項目

③平成28年9月2日

(1)訴訟経過



○第2回定例会

付議された次の議案等を可決・
認定した。

- ①財産取得の件（帳票処理機器製
本機）
- ②平成27年度西いぶら広域連合一
般会計歳入歳出決算



報告 田中 秀幸

西胆振
消防組合議会

▽国本 一夫
▽山田 勇
▽田中 秀幸

○第2回臨時会

平成28年6月28日、伊達市消防・
防災センターにおいて開催され次の
議案を可決した。

- (1)北海道町村議会議員公務災害補
償等組合規約の変更について
- (2)北海道町村総合事務組合規約の
変更について
- (3)北海道市町村職員退職手当組合
規約の変更について

(4)財産の取得について（豊浦2号車）

○行政視察

平成28年7月13日から15日まで
の3日間の日程で行政視察を行っ
た。

視察先及び調査項目については次
のとおり。

- (1)山口県岩国市 岩国地区消防組
合消防本部
 - ・いわくに消防防災センターの概
要について
- (2)広島県広島市 広島市消防局安
佐南消防署
 - ・砂防・治山施設整備計画につ
いて

監査報告



監査委員

原見 正信

で監査報告書の提出があり、受
理した。
監査委員による監査会議は月
1回開かれ、こうした監査報告
書をまとめている。最近の監査会
議は7月25日、8月22日、9月
26日に開催された。

第3回定例会にあたり監査委
員より、平成28年8月29日付及
び平成28年9月26日付で平成28
年7月分、平成28年8月分の一
般会計、特別会計、水道事業会
計の例月出納検査監査報告書の
提出があった。
また平成28年度財政援助団体
等監査の結果について8月22日付



西小路の歌碑 (元町児童公園内)

表紙の写真説明

西小路は御要害(旧仙台藩が防衛配備上使った「巨理館」の正式名称)の西側を南北に屋敷割された道筋であり、第一回移住の阿部家など30数戸が入り開拓に励んだ。易学によると西の方角は「金」にも通じ、縁起のいい方角、茜とは山野に自生する多年生のつる草、根が赤い色で染料となり「茜をさらす」は茜の染料で染めた赤い色の布を竿にかけて並べて日にさらし、乾かしている様子を表現。当時の風情もやがて時代の流れとともに、町の中から姿を消してしまった。(昭和59年8月23日建立)



祝うぞよ 千年万代
君が世の末長かれと
あおぐ明けくれ

末永丁の歌碑 (国道37号沿いのラーメン店駐車場内)

右の写真説明

市内のほぼ中央に位置する末永町。戊辰戦争で敗れた巨理伊達家。その家禄は2万4350石から、わずか58石に削封され1362戸の家臣は路頭に投げ出された。領主邦成公は家財のすべてを売り払い、有珠郡の支配を命ぜられ、かろうじて君臣の離散をまぬがれることができた。当時家臣たちにとつて、領主である邦成公が唯一の心の支えとなった。「前途が明るく開けつつある今、何より邦成公一家の上に、そしてともに入植した多くの人達の上にも末永く幸多かれ」と願う気持ちを素直にうたった歌。(昭和57年8月23日建立)

お知らせ

Information

● 議会を傍聴しましょう

今回の定例会は、12月2日(金)から開催され、一般質問は12月8日(休)と9日(休)を予定しています。日程など詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

● 会議録の検索をご利用ください

議会のホームページから『会議録検索システム』がご利用いただけます。新聞報道などではわからない実際の議論を検索できます。

視察にお見えになりました。

H28. 10. 4 岡山県 津山市議会 人口増加のための施策について	H28. 10. 5 高知県 仁淀川町議会 移住・定住策の取り組みについて	H28. 10. 21 東京都 小平市議会 包括外部監査について
--	--	---



編集後記

7月に広報常任委員会での先進地視察を行った。

視察初日、視察先の広報委員より「御市の市議会だよりは文字数が多く見づらい」と厳しい指摘を受け、2日目「この表紙では次のページを見る気がしない」と厳しい指摘を受けた。

この2日間は、議会での「議案」「質問」「答弁」を一字一句、市民の皆さまに伝えようと編集してきたことが否定をされた。3日目の視察先の広報委員より、2日間の厳しい指摘を察してくれたのか「御市の市議会だよりは見づらいが内容は良い、構成を変えただけで良いものになる」と言われた。この84号は、これらのアドバイスを受け研究をし、臨場感を表現するため議場での写真を掲載し、文字数を減らすなどリニューアルを図った。

現在の広報常任委員会構成では、85号、86号の残り2号の編集を行う。この2号を分かりやすい市議会だよりにしていくよう取り組んでいるところ。この市議会だよりを通じて、一人でも多くの市民の方に足を運んで傍聴していただき、生の議論を聞いていただきたいと願う。

田中 秀幸

広報常任委員会 (8人)

委員長 阿戸 孝之 副委員長 佐藤 匡則
委員 小久保重孝 渡辺 雅子 田中 秀幸 山田 勇 堀 博志 阿部 正明